

平成31年度 出前講座内容一覧

| 教科等 | 講座コード | 講座名 | 講座時間の目安(時間) | 出前可能な講座の内容 | | | | | | 担当・連携する課・室・センター(部署名) | 担当者名 |
|--------|-------|--------------------------|-------------|--|---|---|---|---|-----|--|-------------------------|
| | | | | | 小 | 中 | 高 | 特 | 団体等 | | |
| 県の課題 | 101 | 竹島に関する学習 | 60～90分 | 我が国の領土に関する教育等の一層の充実を図るため、平成29年3月、小学校及び中学校の新学習指導要領に、平成30年3月、高等学校の新学習指導要領に、竹島が我が国の固有の領土であること、韓国によって不法に占拠されていること等について理解させる必要があることが明記されました。竹島に関する学習の一層の充実を図るため、「竹島に関する学習を通して目指す子供たちの姿」、「子供たちに身に付けさせたい竹島に関する知識等」及び「領土に関する教育の考え方」を内容とする講義を実施し、指導者の資質向上を図ります。(平成30年度新任教職員研修、教職経験者研修で実施した内容をもとに行います) ☆【講義60分～90分】 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 学力育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 大坂原 |
| | 102 | 人材育成基本方針の考え方 | 60分程度 | 「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」、「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」、「学校管理職等育成プログラム」についてその基本的な考え方、趣旨について具体的に説明します。また、「教職員研修の手引」、「管理職研修の手引」を基に、県教委が実施する研修の方針や研修の進め方を具体的に説明します。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 学校企画課 人材育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 梅木 繁田 加藤(淳) 田中 |
| | 103 | 日本語指導が必要な児童生徒への教育 | 60～90分 | 帰国・外国人児童生徒等に対する日本語能力測定や個別の指導計画作成について研修します。活用できる資料の紹介や、実際の事例を想定した演習を通して、よりよい支援・指導の在り方を考えます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 学力育成スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 小澤 |
| キャリア教育 | 104 | キャリア・パスポートを活用したキャリア教育 | 60～90分 | キャリア・パスポートを活用したキャリア教育について考えていきます。 【項目】・キャリア・パスポートとは ・キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の実際 ・キャリア・パスポート作成の演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 地域教育推進室 キャリア教育スタッフ | 伊藤 |
| | 105 | 新学習指導要領におけるキャリア教育の実際 | 60～90分 | 「学力の育成と関連付けたキャリア教育の実際」について考えていきます。 【項目】・学習内容に関すること ・指導方法に関すること ・体験的な活動に関すること ・島根県のめざすキャリア教育に関すること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 地域教育推進室 キャリア教育スタッフ | 伊藤 |
| 生徒指導 | 106 | いじめの問題への対応 | 30～90分 | いじめの定義を正しく理解し、いじめの正確な認知に関する教職員間での共通理解を図ることにより、それぞれの学校のいじめ防止基本方針に沿った対応について考えていきます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 子ども安全支援室 | 高倉 |
| | 107 | アンケート調査を活用した学級集団づくり(基礎編) | 30～60分 | アンケートQUの概要を理解することにより、直面する課題について学級集団に対するチームでの働きかけや面談を通じての個人への働きかけについて考えていきます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 子ども安全支援室 | 高倉 |
| | 108 | 自死予防の取組 | 30～60分 | 若年層の自死・自傷の現状やリスクのある子どもの特徴などを理解し、生徒理解の校内体制の整備や関係機関と連携することの重要性について考えていきます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 教育指導課 子ども安全支援室 | 高倉 |
| ふるさと教育 | 109 | ふるさと教育推進講座 | 60～90分 | 平成17年度から県内全公立小・中学校で実施されている「ふるさと教育推進事業」は、多くの学校において、地域の「ひと・もの・こと」を活用し、特色を活かした取組が見られるようになりました。本講座では、目的やねらいの明確化、児童・生徒に育みたい力とは何か、発達段階に応じた系統的・発展的な取組など、それぞれの学校の実態に応じた効果的なふるさと教育の在り方について一緒に考えます。 【講義・演習60～90分】 | ○ | ○ | | | | 社会教育課/ 教育指導課 地域教育推進室 | 糸賀 後藤 |
| 人権教育 | 110 | 「進路保障」を進めるために | 80～90分 | 島根がめざす人権教育の柱である「進路保障」の理解を深めます。 【主な内容】 次の内容を中心に、演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 ①「進路保障」の理念とは ②「進路保障」の取組 【実施にあたっての注意点】 ①演習・グループワーク等ができる場所を確保してください。 ②実施の日程等の条件が調整できない場合にはお断りすることもあります。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 人権同和教育課 | 松浦 |
| | 111 | 「人権学習」の授業づくり | 90分 | 「人権教育指導資料第2集」を柱に、人権学習の授業において子どもたちにつけたい力、重点は何かについて理解を深めます。 【主な内容】 演習・グループワーク等も取り入れて実施します。 【受講対象について】 受講人数8名以上であれば、学年部単位での申込も可能です。 【実施にあたっての注意点】 ①演習・グループワーク等ができる場所を確保してください。 ②実施の日程等の条件が調整できない場合にはお断りすることもあります。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 人権同和教育課 | 松浦 |
| 複式教育 | 201 | 複式学級の学習指導 | 90～120分 | ～複式学級における授業づくりのポイント～ 複式教育についての基本的な考え方、複式学級の授業づくり、特に学年別指導のポイントや児童の主体的な学習を促すガイド学習等について実践事例を基にした講義、演習等を行います。 (H30年度複式学級新任担当者研修で実施した講義内容をもとに行います) | ○ | | | | | 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 深田 |
| 道徳 | 202 | 「考え、議論する」道徳の授業づくり | 90～120分 | 「考え、議論する」道徳の授業に関して、授業づくりのポイントについて説明し、チームによる教材研究を通して「考え、議論する」道徳の授業づくりの演習を行います。 (演習中心) ○主な講義・演習内容 「『考え、議論する』道徳の授業に向けた授業づくりのポイントとチームによる教材研究」 | ○ | ○ | | | | 島根県教育センター 企画・研修スタッフ/ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ | 園山 |

| 教科等 | 講座コード | 講座名 | 講座時間の目安(時間) | 出前可能な講座の内容 | 小 中 高 特 団 | | | | | 担当・連携する課・室・センター(部署名) | 担当者名 | |
|---------------|-------|--------------------------------|-------------|---|-----------|---|---|---|---|----------------------|--|------------------------|
| | | | | | 小 | 中 | 高 | 特 | 団 | | | |
| 特別活動 | 601 | 特別活動(学級活動)の授業づくり(基本編) | 60～90分 | これから特別活動に力を入れて取り組んでいきたいという学校向けです。学級活動(1)を中心に学級活動の役割や基本的な授業づくりについて考えます。県内小学校の実践をもとに取組のポイントを知ること、教職員が共通理解を図り、チーム学校で取り組むイメージづくりに役立ちます。 | ○ | | | | | | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ | 佐貴 |
| カリキュラム・マネジメント | 602 | はじめようカリキュラム・マネジメント | 60～90分 | カリキュラム・マネジメントの意義や進め方等について、チェックシートを用いた自校評価をもとに、実践校の事例を通して学びます。教職員全員で自校のカリキュラム編成やPDCAサイクルについて共通理解を図ることに役立ちます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ | 佐貴 |
| 学校図書館活用教育 | 603 | 学校図書館活用教育を進めるために | 90～120分 | これから学校図書館活用教育に取り組みたいという学校向けです。学校図書館を活用する意義についての講義や、実践例の視聴などを行います。各教科等や探究型学習での活用を知ることで校内・学級での取組のイメージづくりにつなげてください。 | ○ | ○ | | | | | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ | 上野 |
| 国語 | 203 | 全国学力・学習状況調査の結果を生かした国語科の授業づくり | 90～120分 | 全国学力・学習状況調査問題(以下「全国調査」という)を活用して、思考力・判断力・表現力を育成するための小学校国語科の授業づくりについて考えます。全国調査を知り、生かすことの意義を、過去の調査問題も含めて実際に解くことで実感していただきます。そして、解答類型の分析や、言語活動と指導事項の関連を確認し、系統的に付けるべき力を考えていきます。 | ○ | | | | | ○ | 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 野津 |
| 算数 | 604 | 算数科の授業づくり | 90～120分 | 新学習指導要領を踏まえた算数科における授業改善の具体的な方策を考えていきます。 主な講義内容 新学習指導要領で目指す「算数科の授業の在り方」を考える ～「子どもの声でつくる算数授業」の具体について知り実践に生かすために～ | ○ | | | | | | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 三島 |
| 理科 | 204 | 子どもが意欲的に取り組む理科授業づくり | 90～150分 | 理科の授業づくり充実のための研修。主体的な問題解決学習はどのように進めればよいか、具体的な事例や教材紹介、実験、演習、模擬授業等をととして研修します。 ※時間や内容の詳細は、相談に応じます。 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 梶谷 |
| 外国語活動・英語 | 205 | どう変わる? ～外国語活動の早期化と高学年の教科化に向けて～ | 90～120分 | 「中学生外国語活動」と、高学年の教科化についての講義と新教材を活用した演習を行います。 | ○ | | | | | | 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 須田 |
| 生活 | 605 | 生活科授業で求められる学びのあり方 | 60～120分 | 新学習指導要領を踏まえた生活科の授業づくりの在り方を考えます。 【講義・演習】 「新学習指導要領で目指す生活科の授業の在り方」 ※時間や内容の詳細は、相談に応じます。 | ○ | | | | | ○ | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ/ 島根県教育センター 企画・研修スタッフ | 中村 |
| 図画工作・美術 | 606 | 新学習指導要領に対応した図工・美術の授業づくり | 60分～ | 図工や美術の新学習指導要領で目指す方向性を理解し、これからの授業づくりについて講義や演習等を交えて考えます。 ※時間や内容は相談に応じます。校内研修や各市郡の教育研究会研修会等でもぜひご活用ください。 | ○ | ○ | | | | ○ | 浜田教育センター 研究・研修スタッフ | 松田 |
| 教育の情報化 | 301 | わかる授業のためのICT活用講座 | 90～120分 | 児童生徒にとってわかりやすい授業を実現するための効果的なICTの活用方法を知り、ICTを活用した授業づくりについての実践的な研修を通して、ICT活用指導力を高めます。 ○講義 「教育の情報化と求められるICT活用指導力 / ICT機器を活用した取組の実際」 ○演習 実物投影机・タブレットの利用等、校内にある機器を利用した研修 (毎年度応募が多数あるため、2年続けてのご依頼は現在お断りしております) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 教育相談スタッフ | 加藤(和) 岩橋 多々納 |
| | 302 | 情報モラル講座 | 90～120分 | 情報モラル教育の必要性やねらいについて理解を深めるとともに、模擬授業等の演習を通して、各教科等で情報モラル教育を推進する指導力を高めます。 ○講義 「情報モラル教育の基本的な考え方 ～すべての教員が情報モラルを指導するために～」 ○演習 無料で使える教材(文部科学省、NHK等)を活用した授業づくり (毎年度応募が多数あるため、2年続けてのご依頼は現在お断りしております) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 教育相談スタッフ | 加藤(和) 岩橋 多々納 |
| | 303 | 教育情報セキュリティ講座 | 90～120分 | 学校において必要な情報セキュリティに関する知識・技術の理解を深めるとともに、学校における情報資産の洗い出し等の演習を通して、校務の情報化推進の実践力を高めていきます。 ○講義 「学校における情報セキュリティの現状と課題 ～安全に校務の情報化を進めるために～」 ○演習 学校における情報資産の洗い出し ○協議 学校におけるセキュリティ対策について等 (毎年度応募が多数あるため、2年続けてのご依頼は現在お断りしております) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 島根県教育センター 研究・情報スタッフ/ 教育相談スタッフ | 加藤(和) 岩橋 多々納 |
| | 304 | 小学校プログラミング教育講座 | 120分以上 | 小学校プログラミング教育について、導入された背景や何をどう学ぶのか等の基本的な考え方を知るとともに、その実際をプログラミング体験しながら、実施に向けての見通しをもってもらいます。 ○講義 「小学校プログラミング教育の基本的な考え方」 ○演習 プログラミング体験(コンピュータを用いずに行う指導、5年算数、6年理科) ※学校に設置されているパソコンを使用します。そのため、講座実施日以前に学校に訪問させて頂き、パソコンの動作確認を行います(所要時間 60分程度)。 | ○ | | | | | | | 島根県教育センター 研究・情報スタッフ |

| 教科等 | 講座コード | 講座名 | 講座時間の目安(時間) | 出前可能な講座の内容 | 対象学年 | | | | | 担当・連携する課・室・センター(部署名) | 担当者名 |
|--------|-------|--|-------------|--|------|---|---|---|-----|------------------------------------|---------|
| | | | | | 小 | 中 | 高 | 特 | 団体等 | | |
| 特別支援教育 | 401 | 多様なニーズに応じた指導・支援の基盤とは(ワークショップ) | 90～120分 | インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進のために、体験や演習を通して、配慮を必要とする児童生徒について、感じ、気づき、その対応について一緒に考えていきます。 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 竹下 |
| | 402 | 通常学級における気になる子どもの見方について考える～子どもの見方とらえ方～ | 90～120分 | インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、学習指導(読み書き等)または生徒指導(社会的関係形成)上の困難さ等について、通常学級における気になる子どもの見方について考えます。 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 竹下 |
| | 403 | 合理的配慮の提供～個への対応～ | 90～120分 | インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進するにあたり、具体例を紹介しながら、「合理的配慮とは何か」「合理的配慮と基礎的環境整備について」「具体的な合理的配慮」について考えます。研修時間に応じて演習時間を設定し、合意形成に至るまでの流れとその後の対応について、考えます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 竹下 |
| | 404 | 中学校・高等学校における配慮を必要とする生徒の支援について考える～青年期の支援について～ | 90～120分 | 中・高校生における配慮を必要とする生徒の理解と対応について一緒に考えていきます。生徒自身が自己の良さに気づき、目標をもって歩むための大人のかかわりについて、中高連携の在り方や校内支援体制について併せて考えていきます。 | | | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 竹下 |
| 教育相談 | 501 | 不登校の理解と支援を考える | 90～120分 | 不登校についての理解をすすめ、よりよい支援について講義と演習を通して考えます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 大野 |
| | 502 | 子どもの人間関係づくりのために | 90～120分 | 「ふれあい」と「自己発見」を目的とする『構成的グループエンカウンター』について体験的に学び、子どもたちのよりよい人間関係づくりにもどのように役立てていくのか考えます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 大野 |
| | 503 | 子どもの見方を深めるワーク | 90～120分 | 島根県教育センター作成『気にかかる子どもに関するワークシート集』を活用した演習を通して、子どもをとらえ直したり、子どもへの関わり方を振り返ったりして、子どもの見方を深めます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 大野 |
| | 504 | 学級集団づくりについて考える | 90～120分 | 島根県教育センター作成『学級集団づくり魅力ガイドブック』を活用した演習を通して、よりよい学級集団をつくる上で大切なポイントを教職員みんなで見つけます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ/浜田教育センター教育相談スタッフ | 大野 |
| | 505 | 保護者と学校とのよりよい関係づくりを考える | 90～120分 | 保護者とのよりよい関係づくりについて、講義・演習を通して考えます。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 島根県教育センター教育相談スタッフ | 大野 |
| 学校事務 | 206 | 事務グループ活動の推進 | 90～180分 | 事務グループの役割・進め方についての講義・演習事務グループ活動において実施される、諸手当、旅費等の実務研修支援を行います。 ※原則事務グループを対象とした講座(複数グループも可、おおむね20名を限度) | | | | | ○ | 島根県教育センター企画・研修スタッフ | 加藤(淳)田中 |

☆ 申し込みについては、教育センターのHPから申し込みをしてください。(様式フォームに必要事項を入力)

| 募集 | 出前講座実施期間 | 出前講座受付期間 | 備考 |
|------|---------------------|--|---|
| 年間一括 | 6月中旬～2月下旬 *年間実施分 | 4月下旬～5月20日 *6月中旬までに実施の可否を送付します | <ul style="list-style-type: none"> 年間一括の申し込み 第2希望まで申し込みが可能(第1希望か第2希望かを明記すること) |